



www.yokohama-tawawa.jp

◇全国でグループホーム入居者が

10万人を超える時代に◇い

つの間にか8月。今年は特に時のたつのが早く感じられます。

他人事のように思っていた、熱中症が、身の回りで何人もあり、雨と言えば豪雨。強い風と、被災地の大変さを思えば申し訳ないのですが、少し身に伝えます。普段から元気だった会員たちにも心配な様子がみられます。早く秋になればとったり、そんなに速く時が過ぎては困ると思ったり....



さて、津久井やまゆり園の入居者の事件が起きて1年になります。この悲惨な事件は、私たちにとっていくつもの大きな課題を投げかけました。

何十年も前、障害者の行く末を思い、悩んできた親たちの気持ちが痛いほどわかるだけに、その後の経過の中で「早く元の生活に戻してほしい」という親族の訴えがあることも理解できます。

しかし、その後の社会の変化の中で、重度障害者も地域の中で暮らせるようになってきています。「活動ホームしもだ」やグループホームの「よつばホーム」も、多くの応援団に支えられ、今もその途上ではありますが、一定の方向を見ることができるようになってきました。

いまは、かつて『この子たちが一体何の役に立つの』とつきつけられた質問にも、たぶん皆答えることが出来ることなのでしょう。

問題は、当時の気持ちが「親の安心」から、障害当事者のサイドに立った“安心な暮らしの選択”に変わってきたことです。これは、“預ければ安心”なうちは、決して生まれなかったし、日中は「活動ホームしもだ」に通い、地域のグループホームで暮らさせようと、スクラムを組んで立ち上がった日々の活動の

支える会の活動

- 7月7日 GH よつばホーム
・支援センター監査
- 11日 よつばホーム職員会議
- 13日 よつばホーム経営検討委員会
- 14日 しもだ緊急時対策検討会
- 21日 区社協セイフティーネット会議
- 21日 しもだ事業会議
- 21日 よつば事務局会議
- 25日 よつば家族会
- 25日 pm.しもだ役員打ち合わせ
- 29日 グループホームを考える会

中で自然とできた変化でした。

この人たちは(重度だから)、この程度で十分と思えば、その当事者にとっては、生き甲斐も、広がる世界もそこでストップすることになります。



“掛替えの無い命”と聞けば、理解してくれているという気持ちにもなりますが、本当にそう思っているのかと返したくなるような社会でもあるのです。昨今言われている余暇活動についての考え方も、おなじです。重度であってもなくても、障害者にとっては、一刻一刻が余った時間などではなく....ということでしょうか。

親や支援する人たちが本当に言葉の無い当事者にならなくて発言できるよう、そして私たちはそれを受け止められる応援団でありたいと思います。

* * *

今年2017年4月グループホームの入居者は全国で109,037人となりました。中でも神奈川県は、北海道、東京に次いで7,820人で施設入所の人よりグループホーム入居者の数が多くなっています。

とても素晴らしいことです。しかし私が横浜で試行事業だった頃の本牧のグループホームを見学させていただいてから、ずっと、考え悩んできたことは、未だに解決できていません。それは、安心できる人的な配置のもんだいです。福祉事業は人です、特に重度障害者にとっては最重要なのですが、今も歩きながら考えている状態なのです。

今年は、皆でいろいろ考えていきたいと思っています。ぜひご意見をお寄せください。

ご入会ご継続ありがとうございます。

【敬称略】

【正会員】

古田 節子

【賛助会員】

黒澤 千草 荒巻喜代子 福石 千里 赤瀬 福子 北川 道子
下野 正夫 下野 芳子 黒田 道子 石瀬 有治

【団体賛助】

新吉田第四自治会 大原マネジメント研究所

【お便り】

「TAWAWA」で皆さんとお会いできるのを、毎回楽しみにしております。かげながらですが、いつも皆さんの事をおもって、皆さんとの繋がりを励みに、私も、頑張ります！
(北川道子様)

(29年7月24日現在)



めがねの声

◇バリアフリーって... ②
「車いすを直して～」

久しぶりにお花見に行く予定の日でした。

いつもなら前の日に車イスの空気を見てくださいと言うのに、忘れていて、行く前になって車イスを見たら、空気がぬけていました。入れても入れても入りません。仕方がないので古いのを出して行くことにしました。

「これを早く直さなきゃね。」と自転車屋さんで修理をすることにしました。

実家から近い 妙蓮寺駅前のお店はしばらく前になくなっていて、白楽にあったから... と行ってみると「昨日までで閉店しました」と張り紙が掛けてありました。

それから母と自転車の店を何件もハシゴしてしまいました。

* * *

新横浜の大型店のDに行けばと聞いて行ってみると「自転車は売っているけれど修理はしていません」車いすも解りません。そこで、日曜大工の道具や日用品の大型店のOに行ったら「自転車売り場は、独立してちがう場所になりました。」といました。

パンクではないかと思うのですが、と言っても「部品も売っていません。」

仕方がないので『今日は帰ろうか...』とおもって帰る途中、菊名の通りに古い店がありました。

店先のガラス戸が少しあいていて「今日はやすみます」とかいてありました。母が窓をたたいて呼ぶと、おじいさんがでてきて、白楽から来たという、それは大変だ、車いすをもってきなさいといってくれました。『なんだ、ムシが無くなってよ』となおしてくれました。

* * *

今は自転車が流行っているのに、街の自転車やさんほどこもつぶれてしまいます。大きな店では、たくさん売っているのに修理はしないなんて、へんですよ、ね...

ヘルパーさんも、子供とママさんたちも乗っているし、活動ホームの職員も地域を回するのに自転車をつかっています。障害者の私もこの前みたいに自転車やさんを使うこともありますから困ります。

車イスの業者に出すと、時間がかかったりしてたいへんです。

* * *

以前、交流で韓国の障害者の集まりに行ったとき、会場に車いすの修理コーナーもあったことを思い出しました。日本でも街の中でちょっと見て直してくれるところがあるといいのですが... 私たちには、車イスは足なのですから。

大原友子



今月のよつばホーム&第2よつばホーム

梅雨も明け、厳しい暑さが続いておりますが、元気でお過ごしでしょうか？
みなさま体調にはお気をつけください。

梅雨明けしたものの、今年は『空梅雨』でしたね。

グループホームから近所を散歩しながら「天気いいね〜♪」なんて言ってはいましたが、関東の水がめ（利根川水系ダム）の貯水率が激減していました。

あまり雨が降らないので水不足が心配になります。

そうかと思えば九州北部における大雨の影響で甚大な被害が発生しています。お亡くなりになられた方々に御冥福をお祈りいたします。

こういったニュースを見るたびに、災害に対する準備の大切さを実感します。

備蓄品はもちろんですが、緊急時マニュアル等をしっかり整備していかなくてはと思います。

車いすを新しく・・・

先日、花岡さんと阿部さんの車いすが新しくなりました。

約10年くらい？ずっと愛用してきましたが、そろそろ新しく！と思い区役所へ申請しました。



擦り減ったタイヤを交換したり、クッションがへたってきたり、ベルトのバックルが壊れたり、時々、修理しながら大事に乗ってきました。汚れや安全面も考慮し、必要性を感じました。

申請後、日程調整を経て、ラポール隣の『横浜市総合リハビリテーションセンター』へ行きます。リハセンの担当の方や車いすメーカーの方と打ち合わせしたり、側彎（そくわん）など体の状態やサイズなど計測して作成する車いすに網羅していきます。

この日の情報を基に車いすメーカーさんで作成に取り掛かります。

そして完成後、リハビリテーションセンターへ行き実際に乗って特に問題がなければ当日から受け取り使用することができます。幸い2人とも大きな問題もなく、7月19日無事納車となりました。

この日のお昼ごはんはリハセンのレストランで美味しくいただきました。花岡さんは予想通りのカツカレーでした♪

花岡さん個別外出♪

8/4（金）花岡さんの個別外出でした。内容はみなとみらいホールで開催される『日本フィル夏休みコンサート』です。

個別外出で何だかんだ一番心配なのが天気ですね。そんなスタッフの心配をよそに前日から楽しみMAXです！前日というかもっと前から！

いつものお約束の「おみやげ買ってくるね〜」のあいさつで元気に出発して行きました♪ 竹生さんとバロンにも「行ってきま〜す！」のご挨拶♪

